

3大駅伝'08 プレイバック

ゴール目前で優勝逃す

第20回出雲全日本大学選抜駅伝競走が行われ、駒大は2位だった。1区星が4位で好スタートを切り、2、3区も奮闘し順位を1つ上げる。4区主将の池田が区間2位の力強い走りですべて首位に立つと、5区高林が昨年同様区間賞を獲得し、下位との差を広げる。独走状態で迎えた最終区、日大の大砲・ダニエルが大会記録を塗り替える速さで猛追してくる。アンカーの宇賀地はエースの意地で必死に逃げきろうとするが、ゴールまで残り2.5kmの地点で捕らえられ、逆転を許す。追い返しを計るが叶わず、そのままフィニッシュ。5km以上13分台の選手を全区間に配置し、万全の状態を挑んだなか、10年ぶりの優勝を惜しくも逃す結果となった。



手を合わせてゴールする宇賀地

伊勢路を制し3連覇!

第44全日本大学駅伝対校選手権大会が行われ、駒大は史上4校目の大会3連覇を成し遂げた。1区は東洋大に続き2位と好スタート。3年連続2区の宇賀地も力走するが、早大・竹沢にタスキをつなぐ目前で抜かれ、3位となる。その後も順位は変わらず、タスキは駅伝初出場の5区井上へ。東洋大を抜き、トップと35秒差の2位に順位を上げる。続く6区高林は早大との差を4秒にまで縮め、区間賞を獲得。トップとほぼ併走状態でタスキを受け取った7区太田は熾烈なトップ争いの末、ついに1位へと押し上げた。最終8区、深津は、額に汗をうかべながらも、終始他校を寄せ付けない走りを見せ、トップでゴールテープを切った。



1位でゴールテープを切る深津

前回王者がシード落ち

第85回東京箱根間往復大学駅伝競走が行われ、駒大は13位という結果に終わった。1区から19位と出遅れるが、2区宇賀地が11人抜きの大走を見せ8位まで浮上。だが、3、4区で失速し、5区星の追い上げもむなしく15位で往路を終える。シード獲得も危うい状況で迎えた復路。7区まで差が縮まらないうなか、8区高林が区間賞を獲得する走りを見せると、続く9区池田も主将の意地で1つ順位を上げる。アンカーの太田に全てを託すが、大きく開いた差は詰められず、前年の優勝とは一転、一度も優勝争いに絡めないうまま13年ぶりにシード落ちとなった。エース深津が怪我で不出場のなか、高林は3大駅伝全てで区間賞獲得を果たした。



唯一区間賞を獲得した高林(右)

<駒大スポーツ陸上担当スタッフ>

発行人 中込由香
 スタッフ 石田友里 千石陽香 渡邊照子
 上田将大 嶋原真美 鈴木亮
 竹内佳菜子 永井美穂 古屋久恵
 矢端きみこ

いつも駒大スポーツをご愛読いただき、誠にありがとうございます。TAFに関するご意見、ご要望等がございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

〒154-8525 東京都世田谷区深沢 6-8-18
 駒澤大学附属マス=コミュニケーション研究所
 駒大スポーツ編集部
 TEL: 03-6381-8901
 FAX: 03-3702-9626

TAFは毎月発行!

今後の日程&出場予定選手

9月26-27日 第201回日本体育大会長距離競技会

<10000m>

深津、藤山、飯田、藤原、上野、攪上、久我、後藤田、千葉、手塚、西澤

<5000m>

玉木、早瀬、馬越、岡本、貝森、前田、山崎、齋藤

9月27日 2009 函館ハーフマラソン大会 渡邊

10月12日 第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走

表紙写真/嶋原真美

紙面編集/千石陽香